

第1回 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会（部会合同開催） 資料

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

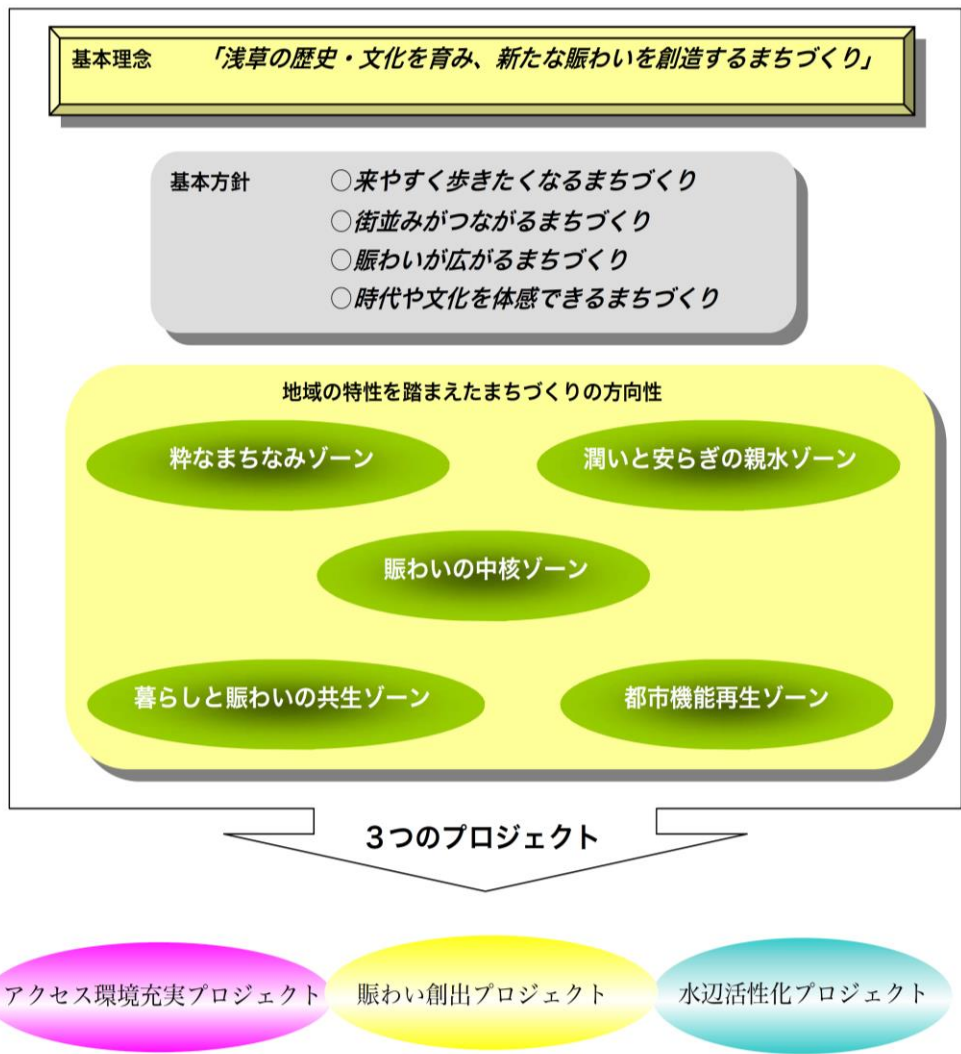
2022年9月28日
台東区都市づくり部

2-1. 現ビジョンの概要と進捗

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■現ビジョンの概要

- 基本理念、基本方針に基づく事業として、3つのプロジェクトが掲げられ、短期・中期・長期の整備スケジュールと事業主体・関係機関が整理されている。



整備スケジュール

(平成 19 年 6 月)

プロジェクトと整備メニュー	事業	短期					中期	長期	事業主体・関係機関	
		H19	H20	H21	H22	H23	H24～28	H29～		
アクセス環境充実プロジェクト	1 交通結節点の再整備	[鉄道事業者等と協議し、整備を進める]					継続的な推進		鉄道事業者・関係地権者・国・都・区	
	2 ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	地域全体のバリアフリー化(優先)	銀座線浅草駅エレベータ設置	江戸通り・国際通り歩道整備バリアフリー	東武浅草駅エレベータ設置(H22まで)	言問通り・浅草通り歩道補修			国・都・区・鉄道事業者・店舗等	
		浅草各駅周辺・地域内の案内強化	[外国語案内板の充実、情報提供の充実、新タワーとの誘導案内計画]							区・鉄道事業者 国・都
	3 「伝統のまち」と「新しいまち」の連携強化	交通網の拡充	[鉄道事業者等と協議し、拡充を図る]							鉄道事業者・バス事業者・墨田区・区・都
		交通システムの新設(シャトルバス等)〈優先〉	検討		整備					事業者・国・都・区 墨田区・地域関係者
4 新たな舟運ルートの整備	新たな舟運ルート整備	検討		整備					舟運事業者・都・区 墨田区	
5 観光バス乗降・待機システムの構築	観光バス乗降・待機システムの構築	検討		整備					バス事業者・区	
賑わい創出プロジェクト	6 文化観光資源の育成・創出と情報発信の強化	浅草文化観光センター改築(優先)	検討・調査	設計	工事	工事、開設			区・区民・活動団体	
		観光情報発信力強化(優先)	[新タワー内 情報インフォメーション機能の設置]							区・区民・活動団体
		芸術芸能の支援育成、生活文化の保存等	[芸術・芸能の支援育成、生活文化の保存等]							区民・区・活動団体
	7 にぎわいを誘導する街並み整備の誘導・推進	六区興行街地区整備	基礎調査	計画策定	整備				区民・区	
		都市機能再生ゾーン街並み整備	基礎調査			計画策定	合意形成		区民・区・鉄道事業者 国・都	
		街並み整備	国際通り、雷門通り基礎調査	国際通り、雷門通り計画策定	整備				区民・区	
	8 街並み整備と連動した歩行者空間の整備	街並み景観整備(カラー舗装等)〈優先〉	仲見世柳通り 観音通り・花やしき通り	雷門2丁目街区通り(予定)					商店会・国・都・区	
		道路事業	[江戸通り、言問通りなど、歩行者空間の整備推進]							国・都・区
	9 浅草と上野を結ぶプロムナード整備	浅草通りシンボルロード整備(優先)	整備							都・区
		かつば橋本通り整備	[整備推進]							商店会・都・区
10 安心・安全まちづくりの充実	防犯活動の強化	[地域防犯活動への支援、防犯設備設置補助]							区民・区・活動団体	
水辺活性化プロジェクト	11 水辺の散策ルートづくり	親水テラス延伸(優先)	調整	整備	整備	整備			都・区	
	12 水上交通拠点の整備	水上バス乗り場建替え(優先)	検討・調査	整備	整備	整備			舟運事業者・都・区	
	13 川並み景観づくりへの誘導	川並の景観形成	[整備推進]							区民・区
	14 緑と水辺を活かす隅田公園づくり	各種イベント開催	[イベント等の充実]							区・活動団体・区民

2-1. 現ビジョンの概要と進捗

■現ビジョンの進捗 (令和4年9月時点)

◆完了プロジェクト

- ⑧浅草文化観光センター改築
 - ⑭街並み景観整備
 - ⑯浅草通りシンボルロード整備
 - ⑰かっぱ橋本通り整備
 - ⑳水上バス乗り場建替え
- は完了している。

◆未了プロジェクト

- ①駅の結節機能及び駅周辺を含めた整備
 - ⑫都市機能再生整備ゾーン街並み整備
- は未了であり、鉄道事業者との協議状況を踏まえた検討が必要である。

◆継続プロジェクト

上記以外は、継続して実施していく。

		進捗状況	評価	備考	
アクセス環境充実プロジェクト	1 交通結節点の再整備	①駅の結節機能及び駅周辺を含めた整備	・東武浅草駅の改修（耐震改修・外観リニューアル）終了（H24）	未了	浅草駅周辺を含めた整備は、鉄道事業者等との協議が必要
	2 ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	②地域全体のバリアフリー化<優先>	・銀座線ホームドア設置（H29） ・銀座線1番ホームエレベーター設置（R2） ・銀座線⇄浅草線バリアフリー乗換ルート整備中 ・優良タクシー乗り場の運用開始（R2）	継続	バリアフリー基本構想の改定を踏まえながら、バリアフリー施策を一層推進
		③浅草各駅周辺・地域内の案内強化	・インフォメーションボードの新規設置終了（R1）	継続	情報の更新など、誰もがわかりやすい観光案内板として維持・管理
		3 「伝統のまち」と「新しいまち」の連携強化	④交通網の拡充 ⑤交通システムの新設<シャトルバス等><優先>	・スカイツリーシャトル(SS)運行中（H24～） ・上野公園⇄浅草⇄スカイツリータウン（15-20分間隔運行） ・東京下町周遊さっぷ発売（H30、10～） ・東武スカイツリーライン北千住～浅草、押上および亀戸線+SS+墨田区・台東区循環バス乗り放題	継続
	4 新たな舟運ルートの整備	⑥新たな舟運ルート整備	・防災船着場に水辺ラインの定期便就航中 浅草・お台場：1日5便、浅草・竹芝：1日4便	継続	東京都の「水辺空間活用（舟運）ワーキンググループ」（H27.8～）の内容も踏まえながら検討
5 観光バス乗降・待機システムの構築	⑦観光バス乗降・待機システムの構築	・駐車場、乗降場「観光バス予約システム」導入（H29.2） ・駐車場：台東区民会館・今戸・清川駐車場、乗降場：二天門・東武浅草駅	継続	観光バスの来訪台数の推移や駐車場・乗降場の需要予測などを踏まえ、適切な運用を検討	
賑わい創出プロジェクト	6 文化観光資源の育成・創出と情報発信の強化	⑧浅草文化観光センター改築<優先>	・平成24年4月20日開業 ・観光案内所利用者数1,074,550人（令和元年度）	完了	—
		⑨観光情報発信力強化<優先>	・国内外への観光プロモーションの実施 ・SNS等による情報発信	継続	継続して実施
		⑩芸術芸能の支援育成、生活文化の保存等	・芸術文化支援制度を継続中 ・芸術文化支援制度10周年記念アーカイブブックを作成（H30） ・GTS観光アートプロジェクト終了（H24）※作品の管理は継続	継続	継続して実施
	7 にぎわいを誘導する街並み整備の誘導・推進	⑪六区興行街地区整備	・地区計画区域内における行為の届出及び届出内容の審査を実施 ・国家戦略特区の国家戦略道路占用事業に認定（R1）	継続	エリアマネジメント団体等と協働し、にぎわいを誘導
		8 街並み整備と連動した歩行空間の整備	⑫都市機能再生整備ゾーン街並み整備	・東武浅草駅の改修（耐震改修・外観リニューアル）終了（H24）	未了
	⑬街並み整備		・台東区景観条例に基づく景観事前協議の実施（H23～） ・台東区屋外広告物景観ガイドラインの策定（H30.3）	継続	ガイドラインの適切な運用を継続
	⑭街並み景観整備<カラー舗装等><優先>		・オレンジ通り整備完了（H27） ・浅草雷門商店街アーケード改修完了（H28） ・浅草観音通り商店街環境整備事業終了（H29）	完了	要望があれば随時実施
	9 浅草と上野を結ぶプロムナード整備	⑮道路事業	・馬道通り整備完了（H28） ・富問通りで、東京ストリートヒューマン1st事業が開始予定（R3～） ・区無電柱化推進計画において、浅草地域の一部を優先整備路線に選定（R2.3）	継続	快適な歩行空間を検討
		⑯浅草通りシンボルロード整備<優先>	⑰浅草通りシンボルロード整備完了（H27）	完了	—
			⑱かっぱ橋本通り整備	・街並み景観整備事業終了（H27） ・「かっぱ橋本通り（西浅草）」の区間（300m）の電線類地中化モデル実施事業完了（R1）	完了
水辺活性化プロジェクト	10 安心・安全まちづくりの充実	⑲防犯活動の強化	・子ども安全巡回パトロール事業を継続	継続	継続して実施
		⑳水上バス乗り場建替え<優先>	・平成22年に建替え完了	完了	—
	11 水辺の散策ルートづくり	⑲観水テラス延伸<優先>	・吾妻橋・駒形橋間完成（H24） ・東京都にてテラスのライトアップを実施（H26～） ・すみだリバーウォーク開通（R2.6）	継続	観水テラス延伸については完了 まちから水辺への誘導施策等を検討
		⑳水上バス乗り場建替え<優先>	・平成22年に建替え完了	完了	—
12 水上交通拠点の整備	㉑-2 新船着場整備等	・防災船着場の一般開放（H28.6～）	継続	事業者に対する周知等により、定期船・不定期船の利用を促進	
13 川並み景観づくりへの誘導	㉒川並みの景観形成	・景観計画に基づいた運用を継続 ・隅田川の河川敷地を利用したオープンカフェが来店（H25）	継続	適正な運用を継続 まちづくりの進捗や建物の更新にあわせてスーパー堤防整備を検討	
14 緑と水辺を活かす隅田公園づくり	㉓隅田公園整備・各種イベント開催	・築山周辺（Aゾーン）整備終了（H26） ・山谷堀広場整備完了（H27）※隅田公園再生整備計画終了 ・桜橋長寿倉化工事実施（H29～R2） ・隅田公園サクラ再生工事（H29～）	継続	隅田公園の魅力向上に向けた取組みを検討	

2-2. 都市計画マスタープランの概要

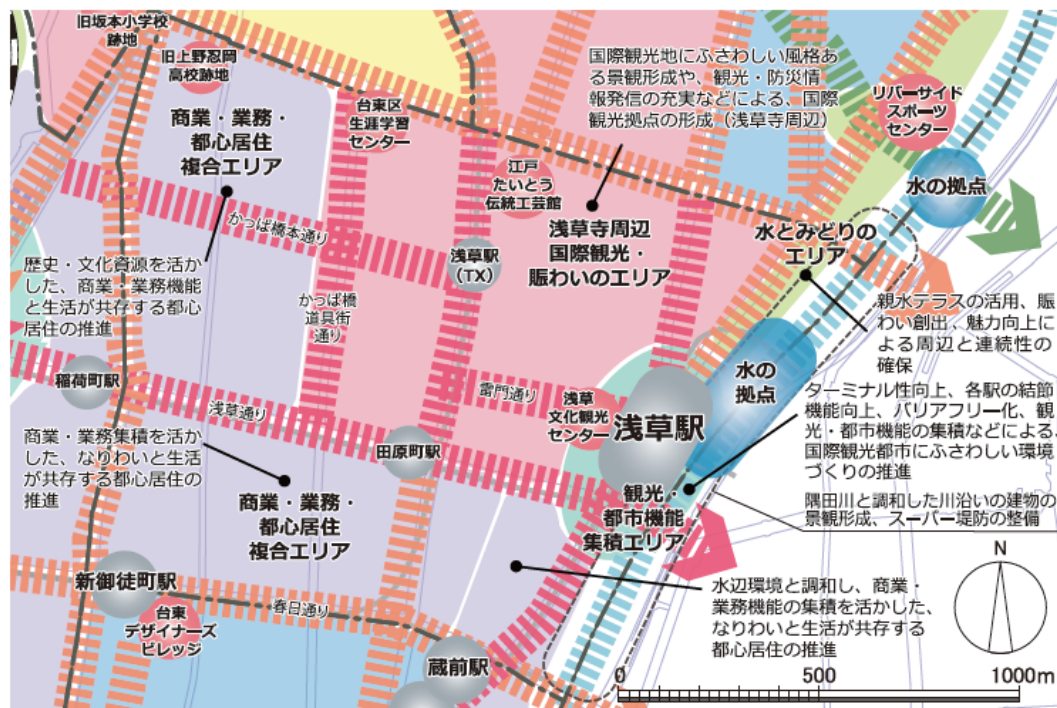
資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■浅草・中部地域の将来像

- 国際観光拠点の形成と地域の安全性向上等を掲げており、「歴史・文化を育み新たな賑わいを創造するまち」を地域の将来像としている。

■まちづくりの方針

- (1) 国際観光都市浅草にふさわしいまちづくりの推進
- (2) 防災性の高いまちづくり
- (3) 伝統ある文化を活かした活気と賑わいのある商業空間の整備
- (4) 歴史・文化にふれ賑わいが広がる歩行者ネットワークの形成
- (5) 隅田川周辺の親水性の向上と景観形成
- (6) 江戸から続く歴史の風情を感じる街並みの形成
- (7) 観光や商業、居住等の機能が共生するまちづくりの推進



【エリア】

- 浅草寺周辺国際観光・賑わいのエリア
- 観光・都市機能集積エリア
- 商業・業務・都心居住複合エリア
- 水とみどりのエリア

【みち】

- 観光・賑わいのみち
- 生活・賑わいのみち
- 水・みどりのみち

【駅と施設等】

- 鉄道駅
- 主な公共施設
- 水の拠点

2-3. 浅草地区の特徴

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■分野A：回遊・滞在

まちの特性（強み）

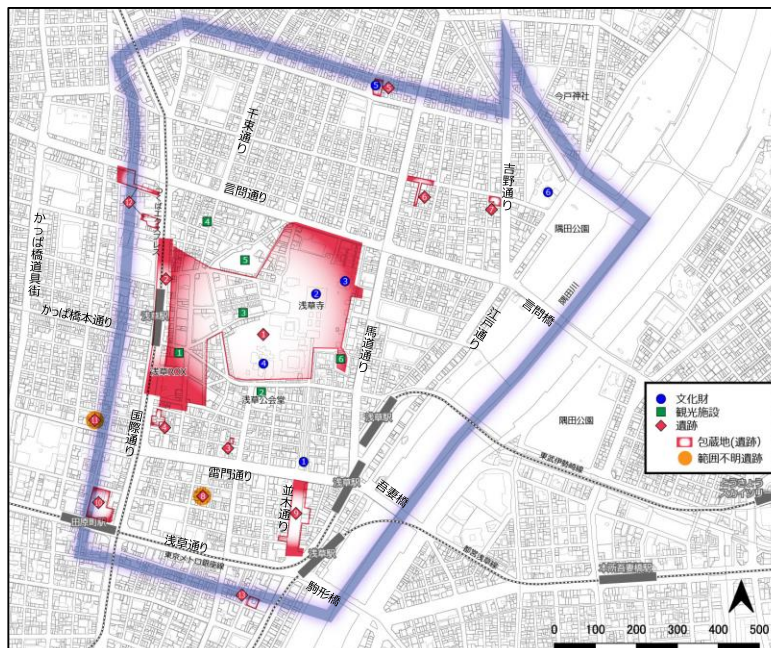
- 雷門～仲見世～浅草寺周辺は地区の特徴的な空間
- 個性的な通りや境界が集積し、文化財・観光施設が集積

まちの課題（弱み）

- 歩行者の一部エリアへの集中
- 案内機能の充実やトイレ環境の整備
- 狭小な駅前滞留空間

まちに関する意見

- ナイトタイムエコノミーの検討も必要
- 職住一体の生活の息遣いが特徴
- 回遊を広げるため水辺空間も大切
- 上野や浅草橋との連携の検討も必要



図：文化財・観光施設等の分布

出典：台東区ホームページ（遺跡一覧表、遺跡地図）（平成29年9月末現在）、（名所・史跡）（平成29年4月20日）
台東区観光情報サイト「TAITO おでかけナビ 浅草観光マップ」（令和3年3月）より作成



図：浅草駅の滞留空間

2-3. 浅草地区の特徴

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■分野A：回遊・滞在

平日 全時間帯合計



休日 全時間帯合計



※10～11時台、13～14時台、16～17時台、19～21時台の計9時間帯において、各時間帯の10分間計測値の合計値（従って延べ90分間の歩行者交通量）

2-3. 浅草地区の特徴

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■分野B：交通結節

まちの特性（強み）

- 鉄道やバスなど、多様な交通手段でのアクセスが可能
- 舟運や人力車など他地区には少ない多様な交通機能が集積

まちの課題（弱み）

- 鉄道間の乗換利便性の向上
- 交通機関の乗降場のネットワーク化
- 公共駐車場の容量、利用状況の改善
- 放置自転車・放置バイク対策

まちに関する意見

- 駅施設が老朽化、駅前広場が未整備
- 鉄道と他交通モードの結節機能不足
- 歩行者、バス待ち客、自転車が錯綜
- バス停が広範囲に分散、案内に苦慮



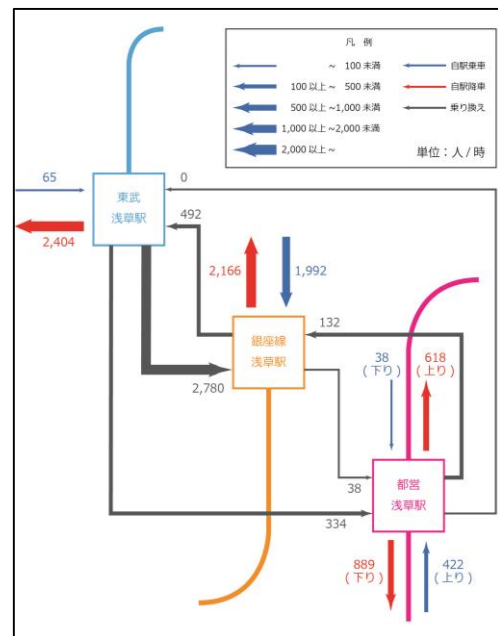
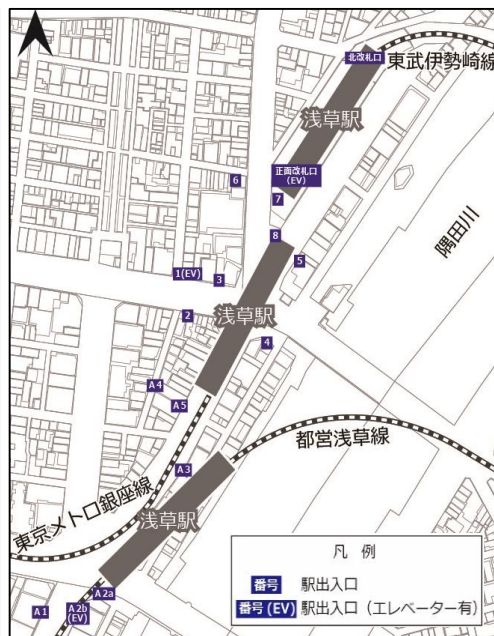
図：鉄道駅の位置

出典：「鉄道各社ホームページ」より作成



図：鉄道駅の出入口位置

出典：「鉄道各社ホームページ」より作成



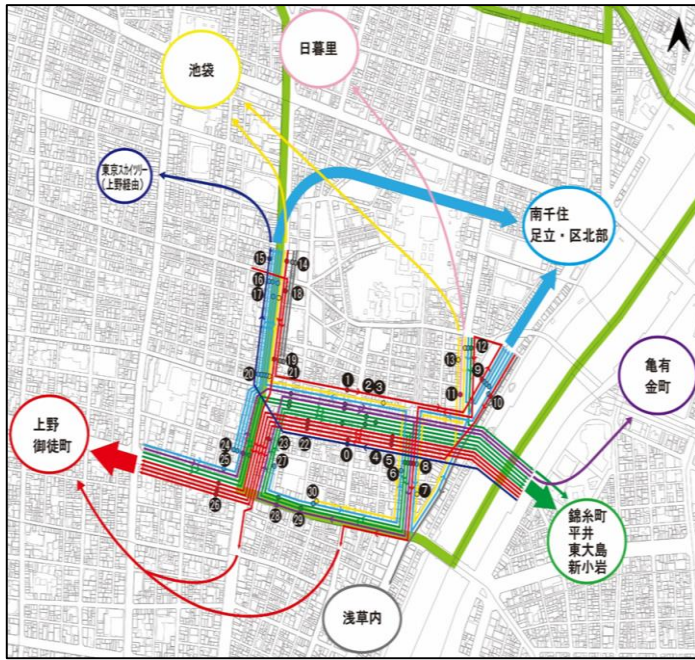
図：鉄道自駅乗降・乗換状況の概要図

出典：「大都市交通センサス」(平成27年度)より作成

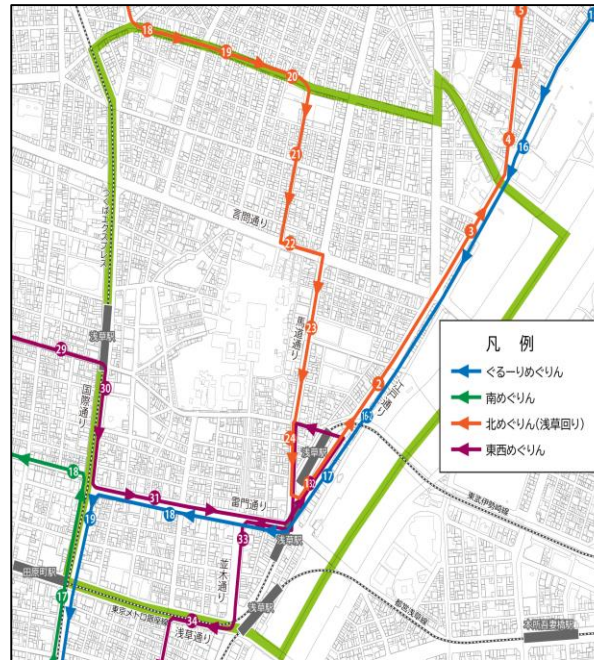
2-3. 浅草地区の特徴

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

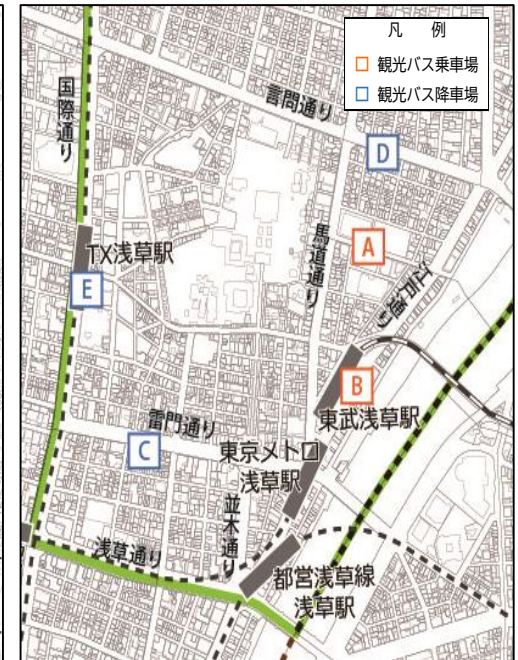
■分野B：交通結節



図：バス路線図
出典：「各バス会社ホームページ」より作成



図：めぐりん路線図



図：観光バス乗降場位置

2-3. 浅草地区の特徴

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■分野C：防災・避難

まちの特性（強み）

- ・隅田公園などのオープンスペース
- ・自主的な防災活動の展開
- ・地元の防災意識

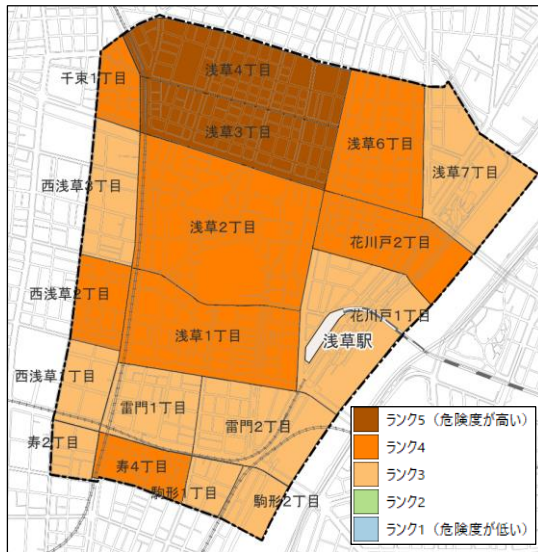
まちの課題（弱み）

- ・地域のさらなる防災性の向上
- ・帰宅困難者への対応
- ・発災時の適切な避難誘導
- ・狭小な駅前空間の改善

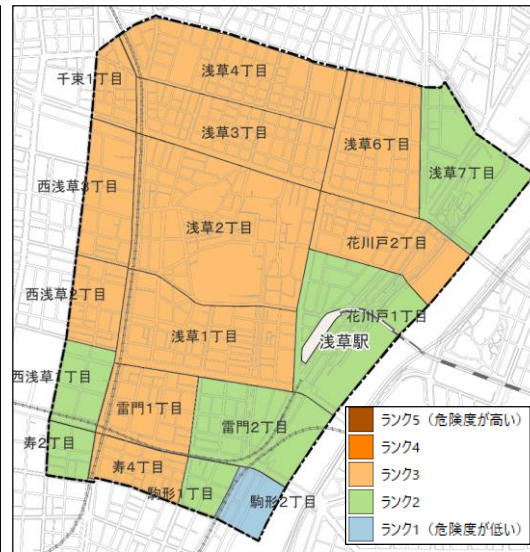
まちに関する意見

- ・外国人観光客への適切な避難誘導の案内や情報提供の整備
- ・災害発生時に情報取得できる仕組みや外部と連絡が取れる通信環境整備

建物倒壊危険度



火災危険度



図：地震に対する危険度

出典：「地震に関する地域危険度測定調査（第9回）」（東京都）（令和4年）より作成



浅草地域帰宅困難者対応訓練の様子

2-3. 浅草地区の特徴

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■分野D：水辺空間

まちの特性（強み）

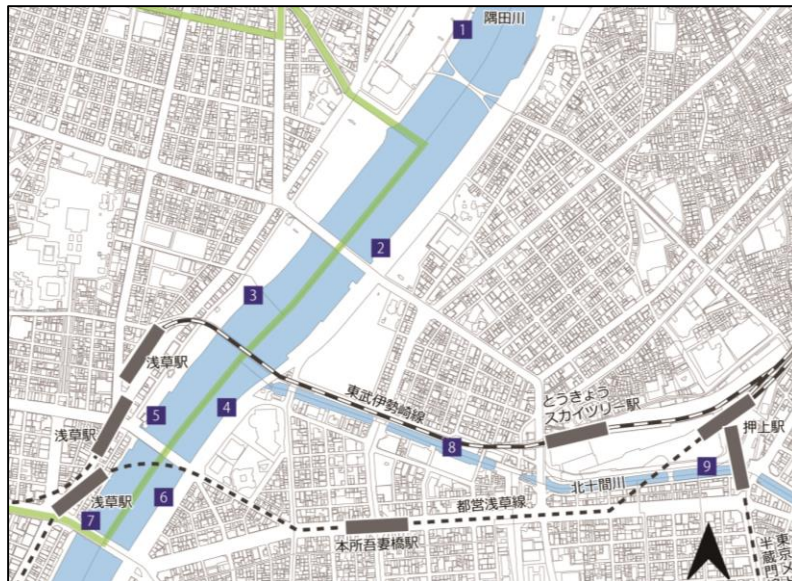
- ・隅田川の水辺空間に隣接した立地
- ・テラス、船、リバーウォークなどの親水空間

まちの課題（弱み）

- ・水辺空間への円滑な誘導
- ・にぎわいある水辺空間の創出
- ・船着場の柔軟な運用

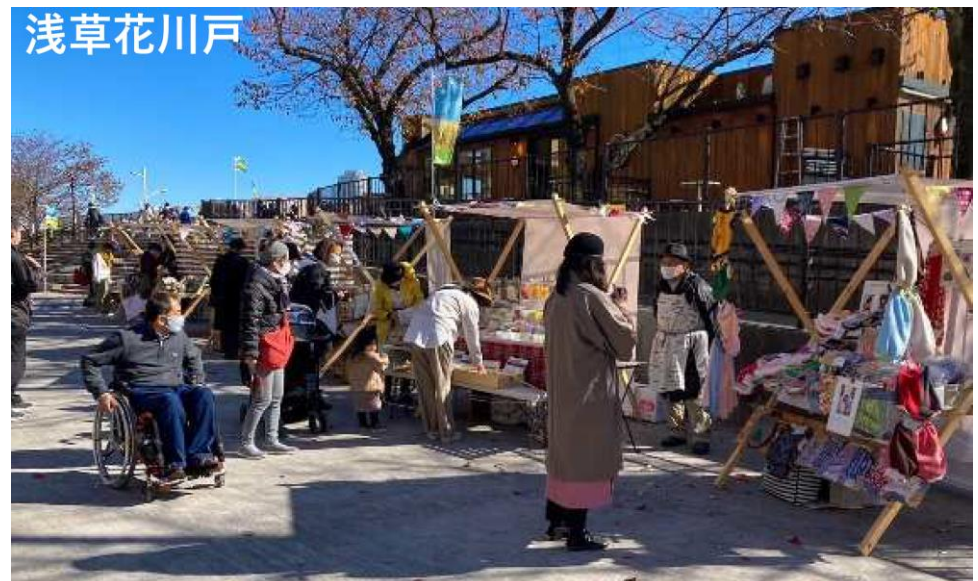
まちに関する意見

- ・水辺に隣接した魅力の活用
- ・使い勝手がよく、にぎわいや安全性のある水辺空間の創出
- ・エリア全体としての舟運の情報発信



図：鉄道駅・船着場位置図

出典：「現地調査」、「各事業者ホームページ」より作成



出典：すみだがわ オープンテラス（東京都）

2-3. 浅草地区の特徴

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■分野E：地域力

まちの特性（強み）

- 伝統的な祭り・イベントの開催
- 商店街単位でのまちづくりの推進
- 六区ブロードウェイでのエリアマネジメントの取組み開始

まちの課題（弱み）

- コロナ禍による社会的変化への対応
- 地域の力を活かした取組みの強化（エリアマネジメント）

まちに関する意見

- コロナ禍を踏まえたまちづくり検討
- 浅草の文化、観光、産業、伝統工芸等を残しながら、若い世代にも対応
- 住みやすいまちであることも大切



三社祭の様子



景観まちづくり協定実施地区
(伝法院通り江戸まちづくり景観協定地区)



浅草六区エリアマネジメント地区

2-4. コロナ禍を踏まえた今後のまちづくりの視点

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■コロナ禍を踏まえた今後のまちづくりにおいて重要となる視点

•近年の社会環境の変化や新型コロナの影響を踏まえた今後のまちづくりについて、国や東京都の検討等に基づき、今後重要となる視点を、右図のとおり5点を抽出した。



赤文字：視点、赤ハッチ：キーワード、黒・オレンジ文字：資料から抽出したトピック (オレンジは新型コロナ禍を契機に関心やニーズが高まっていると考えられるもの)

2-4. コロナ禍を踏まえた今後のまちづくりの視点

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

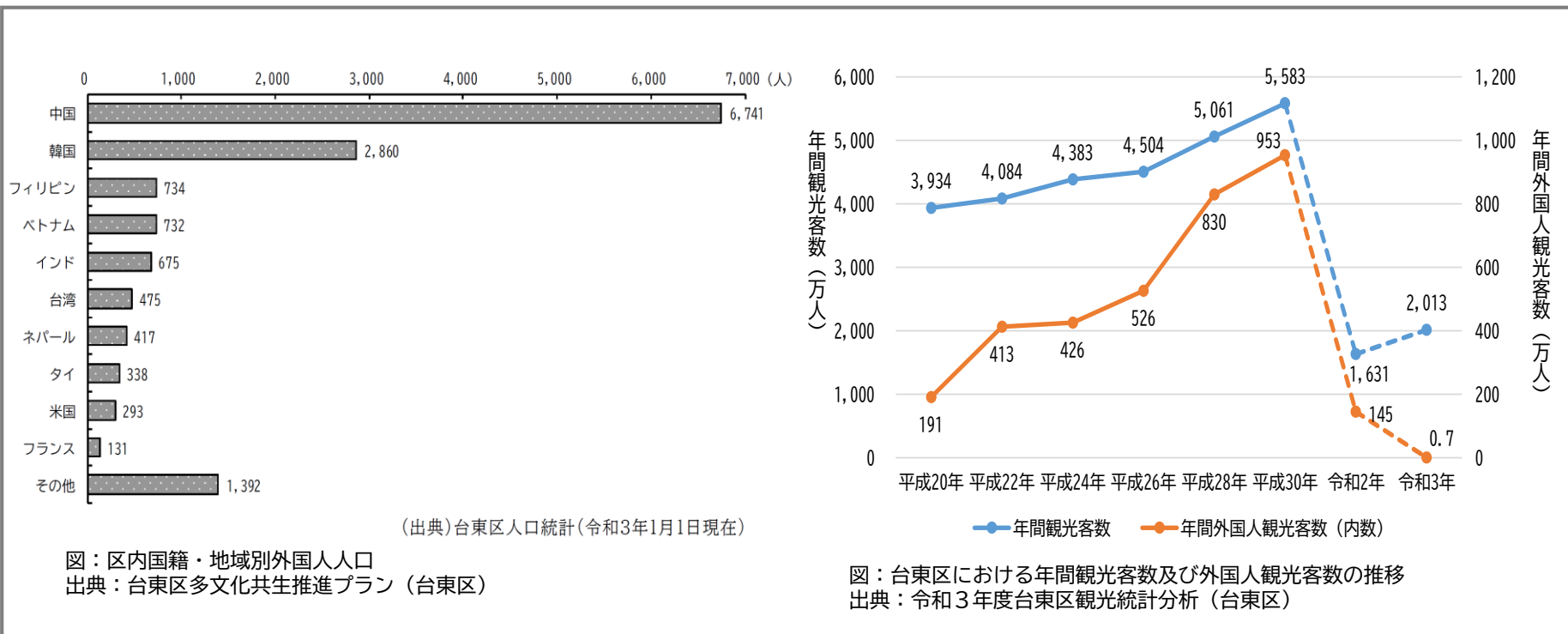
①多様性への対応

【現況等】

- ・台東区には、多様な国籍の外国人が居住している
- ・浅草地区には、日本人のみならず外国人も多く訪れる
- ・コロナ禍により、在宅勤務やテレワークなどの働き方やライフスタイルが広がりを見せ、価値観の多様化も広がっている

【対応の方向等】

- ・多様な居住者や来訪者を想定したバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進、多言語・多文化に対応した観光客受け入れ
- ・ライフスタイルの変化に対応した都市機能の拡充等



2-4. コロナ禍を踏まえた今後のまちづくりの視点

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

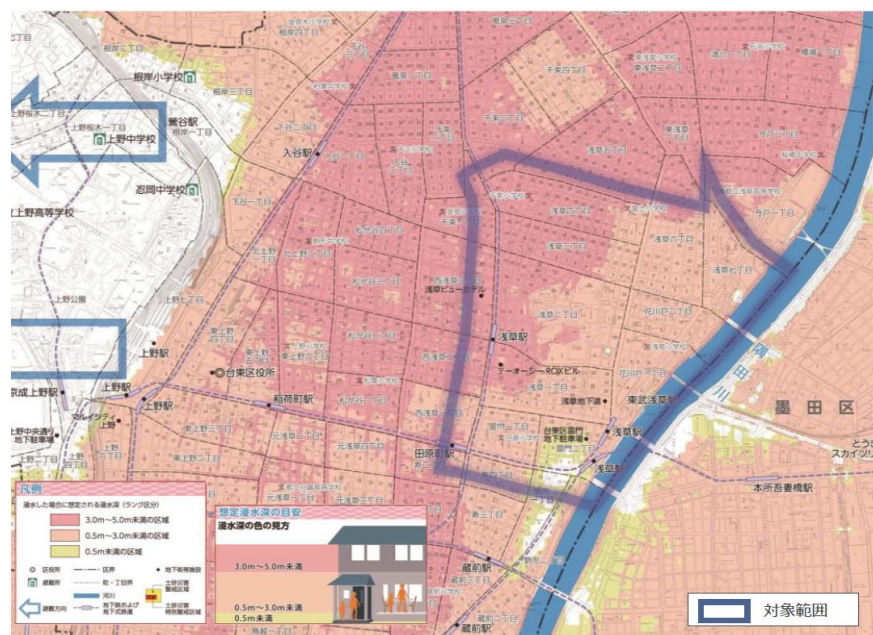
②社会的リスク・要請への対応

【現況等】

- 地球温暖化による気候変動により自然災害の激甚化、浅草地区の大雨による浸水の懸念、首都圏における巨大地震の予想
- 脱炭素社会への取組みが加速しつつあり、グリーンインフラ等を活用した持続可能なまちづくりや観光の必要性

【対応の方向等】

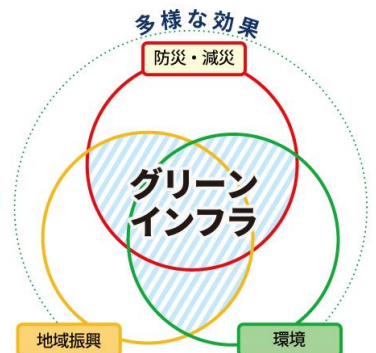
- レジリエンス向上に向けたハード・ソフト一体的な対策
- 観光客も含めた危機管理体制の構築
- 持続可能な社会の形成に資するグリーンインフラの社会実装や公共交通の利用促進等



図：浅草地区周辺の洪水浸水想定
資料：「台東区荒川水害ハザードマップ」（令和3年1月）

- #### 社会的課題
- 安全・安心で持続可能な国土
 - 国土の適切な管理
 - 生活の質の向上
 - 人口減少・高齢化に対応した持続可能な社会の形成

- #### 自然環境が有する機能
- 良好な景観形成
 - 生物の生息・生育の場の提供
 - 浸水対策（浸透等）
 - 健康・レクリエーション等文化提供
 - 延焼防止
 - 外力減衰、緩衝
 - 地球温暖化緩和
 - ヒートアイランド対策等



※第4次社会資本整備重点計画、国土形成計画より、グリーンインフラに関連する課題を抜粋

- 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応

- 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

図：グリーンインフラの考え方
出典：国土交通省グリーンインフラポータルサイト

2-4. コロナ禍を踏まえた今後のまちづくりの視点

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

③デジタル化を軸にした新たな価値の創出

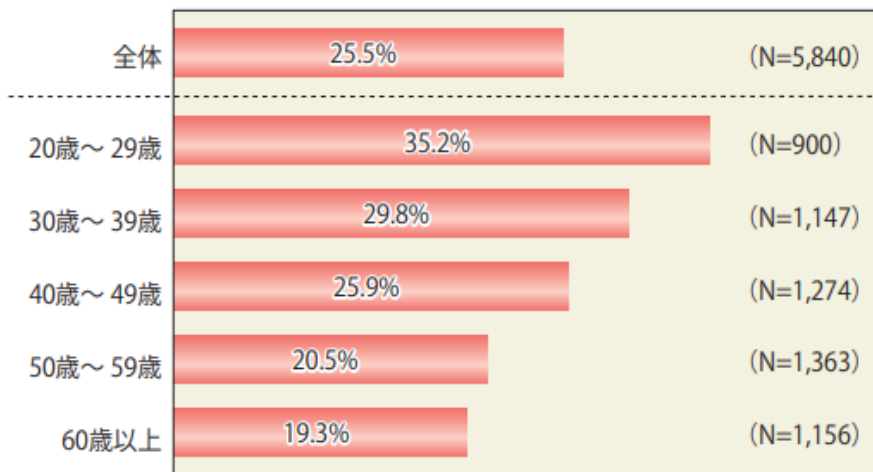
【現況等】

- デジタル技術を活用することで観光を楽しむことができるサービス（オンラインツアー）の広まり
- 技術革新により実現される新たな都市のあり方として、スマートシティやニューモビリティ、MaaSなどの導入が推進

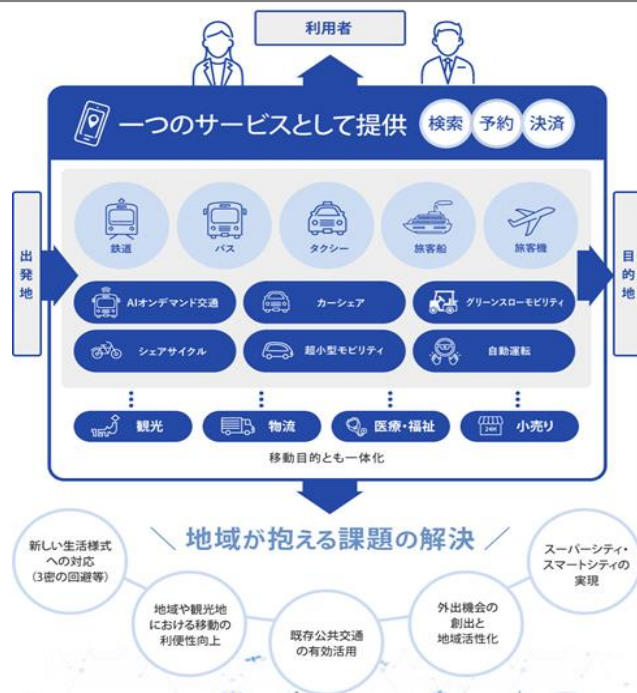
【対応の方向等】

- デジタル技術を活用した観光資源の魅力発信、快適な生活や回遊・滞在の支援
- 新たなモビリティや移動の総合的なマネジメント手段の導入等

未経験者 今後利用してみたい



図：オンラインツアーに対する意向
出典：令和3年版観光白書（国土交通省）



出典：国土交通省ホームページ

2-4. コロナ禍を踏まえた今後のまちづくりの視点

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

④新しい生活様式に対応した都市環境形成

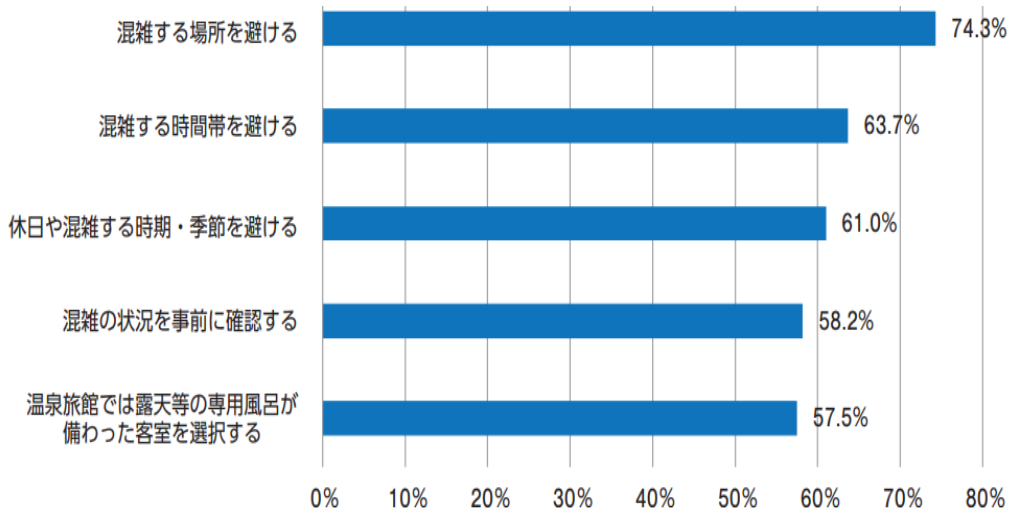
【現況等】

- ・インバウンド回復やコロナ禍に対応した観光時間の分散化等
- ・身近なオープンスペースや公園等の価値を再認識
- ・駅周辺での混雑の緩和や利便性の向上に向けて、駅と駅周辺を一体的に整備し、都市に更なる付加価値を創出

【対応の方向等】

- ・浅草地区でしか体験できないコンテンツの拡充や夜間・早朝の活動を促す観光コンテンツの拡充
- ・ゆとりある空間や居心地の良い水辺空間の創出
- ・駅及び駅周辺を一体的に整備する駅まちづくりの推進等

旅行の計画を立てるときや旅行先での行動において、意識すること



図：日本人旅行者の動向

出典：PRIME 観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン
～観光産業の復活と持続的な成長に向けて～（東京都）

3月の公園利用者数は前年比で増加



図：コロナ禍前との公園利用者数の比較（都立狭山公園、都立武蔵国分寺公園、都立野川公園）

出典：国土交通省「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」

2-4. コロナ禍を踏まえた今後のまちづくりの視点

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

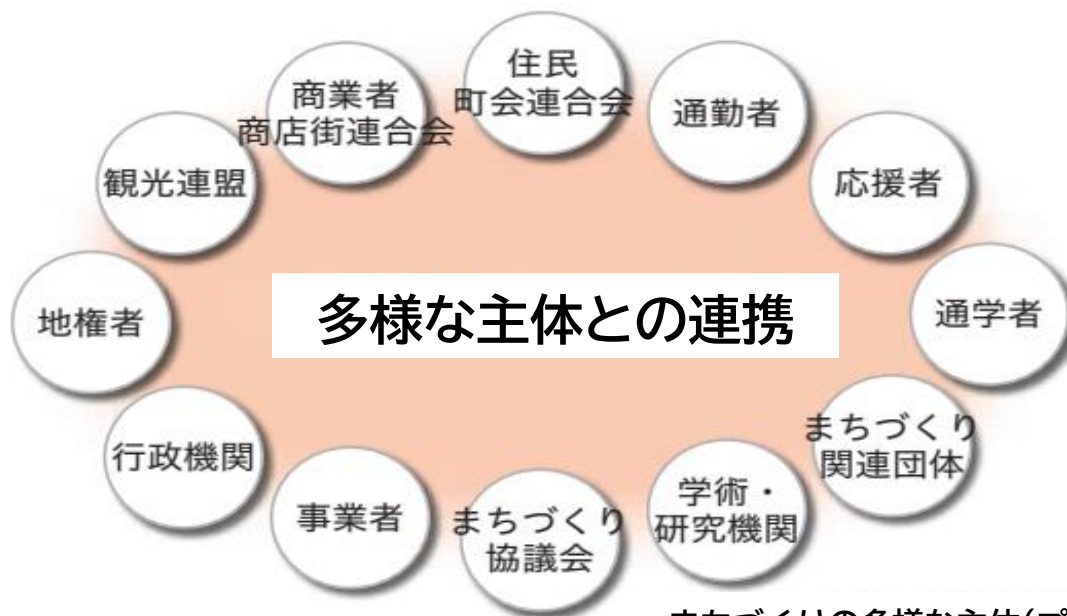
⑤多様な主体によるまちづくり

【現況等】

- ・浅草地区は、商業・観光・まちづくりをはじめとした、様々な主体が存在し、地域の活動を推進
- ・コロナ禍において、多くの店舗で売り上げが大きく落ち込み、収束後の新たな観光まちづくりを検討
- ・寺社や老舗といった古くからの地域力に加え、新しい価値観で魅力を将来につなげる取組みの必要性

【対応の方向等】

- ・公民連携やエリアマネジメントという言葉で表される、行政・民間事業者・地元組織など、多様な主体との連携
- ・社会状況の変化においても柔軟で持続可能なまちづくりの推進
- ・地域の愛着や誇りを持つシビックプライドを醸成し、まちづくりを担う担い手や人材の確保・育成



まちづくりの多様な主体(プレイヤー)のイメージ

2-5. 新ビジョンにおける将来イメージ（たたき台）

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■浅草地区の将来イメージ

- 台東区では、令和2～3年度において、現ビジョンの進捗、上位・関連計画の整理、コロナ禍における今後のまちづくりの方向性の検討、地元組織や交通事業者等のヒアリングを実施し、浅草地区の将来イメージ（たたき台）を以下のとおり整理した。
- 今後、これを検討素材として、委員会及び各専門部会での検討を通じて、浅草地区の将来像やまちづくりの取組みを検討していく。

浅草地区の将来像のイメージ（たたき台）

回遊・滞在

都市空間を有効に活用して、浅草地区の多様な魅力を感じながらゆったりと地域をめぐるようになるウォーカブルなまちなかの形成

交通結節

全ての人の移動が快適で便利になり、周辺地域を行き来したくなる交通結節機能の円滑化と交通手段の多様化

防災・避難

暮らす人も、訪れる人も安全・安心に過ごせる防災まちづくり

水辺空間

暮らす人も、訪れる人も気軽に足を延ばしたくなる居心地のいい水辺空間の形成

地域力

地域の新しい取組を引き出し、地域と共に考えるコロナ禍を踏まえたまちづくり

2-5. 新ビジョンにおける将来イメージ（たたき台）

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

■浅草地区の将来イメージ（たたき台）

- ・周辺エリアとの関係を踏まえた浅草地区の将来イメージ（たたき台）を図示する。



図：周辺エリアとの関係を踏まえた浅草地区の目指すべき姿のイメージ（案）

2-5. 新ビジョンにおける将来イメージ (たたき台)

資料2：まちの課題とまちづくりの視点

参考：上野地区まちづくりビジョン (将来像、取組みの方向性を抜粋)

3 上野の将来像

(2) 上野の将来像

杜の文化とまちの賑わいが共演する舞台“上野”

～世界の粋・東京の粋～

杜が世界に誇る文化・芸術資源 (世界の粋) を磨めている

- 杜をこえた多種多様な場と人々との関わりながら、文化・芸術が創造・表現されている
- 世界の文化・芸術の交流の拠点になっている
- 寛永寺とその門前街という関係性を活かし、寺町としての魅力が向上している

杜とまちとそのつながりが、世界中の人々を惹きつけ、そこでの体験・感動・遊びが新たな絆を生んでいる

- 世界中の人々が、杜とまち全体を見直し、自由に行き交い、体験・感動している
- 杜とまちでの体験・感動が世界中に発信され、惹かれた人々が次々と上野を訪れている
- 杜とまちでの体験・感動をきっかけに、惹かれた人々が上野で新たな遊びをはじめている

まちが、多様で特色ある文化・歴史資源 (東京の粋) を包摂している

- 誰もが懐の深さを感じながら、多様なことを取り入れ発信 (イノベーション) している
- 時代を越えて、留めある商業文化が、独自の発展を遂げ続けている
- 日本を代表するものづくり技術が、新しい時代に伝承され、新たな価値が創造・発信されている
- 地域の祭り等の伝統行事や生活が、新たな世代や住民に受け継がれ洗練されている

杜の文化とまちの賑わいが共演する舞台“上野”

絆がもたらす人々の体験・感動・遊びが、さらなる絆を生み、文化・芸術が無限に成長するまち

4 取組みの方向性

(1) 杜の取組み

- 杜を育き、杜をひろげる
 - 杜の資源の価値・魅力を高める都市機能の強化
 - 杜の賑わい向上に向けた環境づくり
 - 杜の活動の連携体制の構築
- 杜の資源の価値・魅力を高める都市機能の強化
 - 【上野】文化・芸術の創造・表現・発信機能の強化
 - 【杜1-1】文化・芸術の創造・表現・展示機能の拡充 (例: イベント広場、レクリエーションやプレゼンスペース、地域回遊アートプログラム)
 - 【杜1-2】文化・芸術の情報発信や案内機能の強化 (例: 体験型ミュージアム、共遊案内板)
 - 【杜1-3】不定地の地活用の推進 (例: 本道を活かした公共空間再生、本道を利用した文化・芸術活動、自然環境の維持)
 - 【杜2】文化・芸術の交流の場づくり
 - 【杜2-1】文化・芸術の拠となる交流拠点の整備 (例: 交流広場、バンケットルームを併設するホテル)
 - 【杜2-2】文化・芸術の人材育成やインキュベーションを促進する機能の導入 (例: サテライトキャンパス、共同制作スペース、技術や研究のプレゼンスペース)
- 杜の賑わい向上に向けた環境づくり
 - 【杜3】文化の杜に相応しい賑わいや公園機能の維持・向上
 - 【杜3-1】公園内の移動や周辺地域との回遊性を高める環境整備 (例: 歩行回遊広場、バリアフリー対応、周辺地域との回遊性を高める拠点整備、二次交通導入)
 - 【杜3-2】貴重なみどりと交流の場を活かした滞在場所の整備 (例: 屋内休憩所、高付付き広場無料休憩所、定坐広場)
 - 【杜3-3】多岐の文化的活動や時間を確保しやすくなるサービスの拡充
 - 【杜3-4】地域防災力の向上に資する災害時の活動拠点機能の充実 (例: 防災備蓄倉庫、緊急対応対応の医療施設、体験スペースを兼ねた一時滞在施設)

(2) まちの取組み

- まちを育て、まちをひろげる
 - 「上野らしさ」の価値をあげる都市機能の強化
 - 将来の変化に対応した、しなやかな都市空間の形成
 - 懐の深さを未来へつなぐプラットフォームの構築
- 「上野らしさ」の価値をあげる都市機能の強化
 - 【まち1】世界中の人々を惹きつけ迎入れる案内・交流の場づくり
 - 【まち1-1】まちの資源の案内・サービス機能の強化 (例: コミュニティサロンの案内・サービス機能、多言語化対応)
 - 【まち1-2】まちの交流機能の導入 (例: 公共交通での共同イベント、シェアリング機能)
 - 【まち1-3】まちの滞在環境の整備 (例: まちを遊べる休憩設備、若いもの居る広場機能)
 - 【まち1-4】まちの情報発信機能の強化 (例: 地域産業・ものづくり産業やまちの歴史・大衆文化の発信機能、一体感のあるサイン戦略)
 - 【まち2】来街者に安全安心を提供するエリア防災力の向上
 - 【まち2-1】平時の防災力の向上 - 防災【まち】まちづくり - (例) 防災避難拠点の充実
 - 避難者一時滞在スペース
 - 災害時における多言語での情報発信機能
 - 防災備蓄倉庫、非常用発電設備等
 - 道路空間活用等による帰宅困難者対策の充実
 - 【まち3】上野で休み、働くための都市機能の強化
 - 【まち3-1】商業・業務・宿泊・住宅等の多岐で暮らす都市機能の導入
 - 【まち3-2】職住近接の環境の促進とまちの発展を牽引する地域コミュニティの強化
 - 【まち3-3】地域環境に配慮した快適で特許可能なみどりあふれる都市環境の実現
- 将来の変化に対応した、しなやかな都市空間の形成
 - 【まち4】積み重ねた歴史が惹くまちの景観形成と賑わいのルールづくり
 - 【まち4-1】まち全体の理念を創出するまちづくり原則の策定
 - 【まち4-2】まちの賑わいを創出するまちづくり原則の策定
 - 建物の更新ルールづくりとまちづくりにおけるオープンスペースの創出
 - 景観形成ルールづくり (中央通り・宇野のみらち等)
 - 道路空間活用ルールづくり
 - 【まち4-3】中央通りにおける歩行歩天等の実施検討、アメ横及び周辺地域での商業の集積を活かした適正な道路利用 (歩留りの集約、道路活用)